

# 女性がいぎ

NO.101

発行者 岸和田女性会議  
発行日 2021年3月25日  
連絡先 TEL 080-4984-5226  
送付先 〒596-0042 岸和田市加守町4-6-18  
岸和田市立男女共同参画センター気付  
URL: <http://joseikaigi.web.fc2.com/>

2020年度 岸和田女性会議男女平等参画社会推進事業

## 世界から見た日本の人権 表現・報道の自由、ジェンダー、貧困、移民

講師 藤田 早苗さん (英国エセックス大学ヒューマンライツセンターフェロー)  
2021年1月16日(土) 13:30~15:30 市立男女共同参画センター 参加者45名



はじめに、高校生の時に『アジア・女・民衆』(松井やより著・1987新幹社)を読んだことで、社会的弱者へのまなざしに触れ、人権擁護者(声なき人の声に光を当てるHuman rights defender)への道が始まったこと。2016年、2017年の国連特別報告者の来日視察の折にサポートを行うと共に国内状況のレポートも行い、これらが国連報告の原資となりました。

日本は「特定秘密保護法」などで報道の独立性が重大な脅威に直面していること、「テロ等準備罪」でプライバシーや表現の自由を過度に制限される恐れがあると懸念されています。現在は国際専門家としての活動の一端として、世界から見た日本の実相等を学生たちや多くの人々に伝え話し合っている、と話されました。“批判もする本当の友人”(Critical Friend)を大切にして、私たちもそうあるべきと力説されました。

### I 人権とは

どの人にもある権利であり、生れてきた人間すべてに対して、その人が能力を発揮できるように政府はそれを助ける義務がある。その助けを要求する権利が人権である。

具体的には、人がすることを尊重し不当に制限しないこと、人を虐待から守ること、人が能力を発揮できる条件を整えること。これら尊重・保護・充足の義務を負う主体は行政であり国家である。その義務の内容を具体的に規定しているのが「国際人権法」で日本も批准している。国連の主目的の一つでもある。

また、「人権」と「思いやり」は同義語ではない。全ての人が生まれながらにして持っている権利である「人権」と、誰かがほかの誰かに与えるものである「思いやり」とは違う。“あなたの親切が人権を実現します”は間違っている。

### II 国際人権法

それ以前は国内問題(内政不干涉)という範疇で理解されていたが、第二次世界大戦時のナチスドイツの“ホロコースト”等著しい人権侵害経験後に、人権問

題は国際関心事となった。国連の使命の一つであり国連憲章にも謳われた。すなわち、日本における人権問題も国際関心事である。このことを正しく理解する必要がある。

### III 国際人権機関

#### <条約機関>

スイスのジュネーブにある国連欧州本部に人権諸機関が設置されており、締約国が条約の規定を遵守しているかをモニターする。幾つかの条約においては特定の関心事項を扱う選択議定書によって補足される。締約国は定期的に条約の実施状況を報告し審査を受け、専門家委員会による勧告(最終見解)が発せられる。

また、条約機関への「個人通報制度」について、日本は選択議定書を一切批准していないため、日本の人々はこの権利を行使することが出来ない状況にある。このことは日本国内では十分に周知されていない。人権後進国といわれる所以がここにある。これは重要なことであるので、ぜひとも記憶にとどめておいてもらいたい。

#### <人権理事会>

47の理事国により構成されている国連の主要機関であり、人権侵害に取り組み、それに対する勧告を行う。また、国連特別報告者を任命する。世界人権宣言に表記されている各項に対し44のテーマ別特別報告者と国別特別報告者がある。

### IV 日本にまつわる個別テーマ

#### <ジェンダー>

- ・ジェンダーギャップ指数(2018年日本は149か国中110位)は、特に国会議員に占める女性の比率に関して低レベルを更新中。
- ・性被害者について、



日本では被害者を責める論調が強い。

- ・2017年の刑法改正では、暴行・脅迫要件があり、これによりレイプ等の立証のハードルが高く、同意なき性行為加害者が処罰されないという課題が残されている。
- ・性暴力の被害者が警察へ告発した際、警察によるセカンドレイプに等しい対応など、問題が山積み。
- ・日本では「性的同意年齢」を13歳と規定しており、これは各国に比べても低く、13歳以上の被害者は「暴行・脅迫要件」の立証を求められてしまう。
- ・世界的基準として「同意のない性行為は、レイプであると声明すべき」との声明が発出されている。日本においても改善が求められる。

#### <貧困>

- ・極度の貧困に関して国連特別報告者等から、2018年日本の生活保護費引き下げの予定に対し、懸念と見直しを求める共同声明が発せられている。これは日本が負っている国際人権法上の義務に反するばかりでなく、後退禁止原則（いったん認めた権利の実現を後になって後退させること）に反している。



#### <外国人の人権>

- ・差別の禁止にあたる案件として日本の「外国人実習生」問題がある。実習生たちの多くは権利についての説明をきちんと受けておらず虐待の対象となりやすい。
- ・「難民問題」では日本における難民認定数が申請者の0.3%と非常に少ないことに注目（ドイツ23%、アメリカ35%、フランス19%）。
- ・入国管理施設での収容者への虐待も、度々指摘を受けながら改善されてきていないばかりか、「出入国管理法」及び「難民認定法」が改悪されようとしている状況にある。（退去拒否への刑罰導入、難民申請中の送還の一部容認、生活支援者までもが共犯に

#### 【アンケートより抜粋】

回答者数 28名（大変よかった 22名 よかった 5名 どちらでもない 1名）

- ・日本で居るだけでは知り得なかった事実を多く学べることは、大変貴重な機会でした。
- ・今のコロナ禍で気になるのは外国人実習生の問題です。今日は義務の主体は行政・国家だという大切なことを学びました。
- ・改めて多様性の大切さと、自身の根っこを磨き続ける必要性を感じました。視座を高めさせていただきました。

問われるような改正を検討していると昨年報道)

#### <報道・表現の自由>

- ・メディアは市民の側に立って権力を監視し、市民に知らせる立場にあり、ジャーナリズムは政府が行っていることを外部から観察・検証し、必要に応じ批判・警告を市民に届けるために存在すべき。
- ・声なき人の声に光をあてて問題を顕在化させるのがジャーナリストの役割である。
- ・しかしながら日本における報道の自由度は低い。表現の自由に関する国連特別報告者から日本のメディアの独立性が重大な危機にあるとの報告がなされている。
- ・日本特有の慣行であり、閉鎖的で大手メディアしかメンバーになれない「記者クラブ」の存在が問題である。権力にすり寄って情報提供をしてもらう代わりに、権力に都合の良くないことを報道しないという「アクセスジャーナリズム」によって、市民の知る権利が制限されている。

#### 【質疑応答】

Q：なぜ日本における人権意識が世界レベルから見ても遅れているのか？

A：教育によるものではないか。国際人権にかかわることを現在の日本の教育では教えていないから。また、各条約において教育の義務が謳われているにもかかわらず、政府等が義務を果たしていないと言える。司法官も国際人権について熟知しているとはいえない。司法試験で出題されないから。

Q：メディアが硬直（アクセスジャーナリズム）してしまっている理由は？

A：権力側とメディア側の人的世間の狭さ（学閥、同窓の間柄によるなれ合い）も一つの要因ではないか。またジャーナリスト志向の学生が、きちんと学ぶカリキュラムの確立がなされているとは言い難いこともあるのでは。

このようにして、国際人権の基本を教わり、日本の現実を教えていただいたことで、今このときに気をつけなければならないことが、何であるかが明確になったと感じました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大で、炙り出されたこの社会の歪みの実相を確認出来た講演会でした。

（小生 富士枝）

## 第2回みづくり学級

## 「このゴミどっち? &amp; 八木北幼稚園有志の発表」

参加人数 44名 女性会議 11名

箕土路青少年会館館長 中津 隆彦

今年度第2回の学習会は、岸和田女性会議のみなさんに環境と男女平等参画についての学習をおこなっていただきました。

学習に入る前に、八木北幼稚園有志園児による発表を披露してもらいました。今年の運動会の参観は入場制限があったため多くの方に見てもらうことができなかったということで、館で披露してもらいました。「実際に見てよかった。」と祖父母の方々が喜んでくれた上、子どもの一生懸命の発表は会場を温かくしてくれました。



コト「このゴミどっち?」

岸和田女性会議は「すべての人が思想信条その他あらゆる立場を越えて結び合い、人権を守り、平和で安全な男女平等参画社会の実現をめざして活動を展開しています。複雑で多様な社会の中で抱えているさまざまな問題～家族のあり方、働き方、老後のこと、DV、セクシャリティ～を考え、だれもが性別にとらわれることなく自分らしい生き方を本音で語り合える会」です。今回は、その中の一つのグループ「かしまし座」に出演していただきました。

最初に、「女偏の漢字」の説明と由来。嫁、娘、姑など代表的な18文字を紹介。総数は990字もあり、男偏の

漢字は0字で、女性蔑視が漢字文化にもたらしたことが多くあるという説明を聞き、一同「ほお～」と驚愕。



女偏の漢字

「ジェンダー川柳」では、数編の作品を紹介されるたびに、ウンウン、ニヤニヤが会場のあちこちから見られました。

次に、パネル(紙芝居)による“生きる動物に脅威となっているプラスチックゴミ”の話。

陸で出た陸ゴミが大雨大風によって海に流され海ゴミになり、さらに直径5mm以下のマイクロプラスチックになり、魚の体内に。そのあとを考えれば恐ろしい。ゴミを減らし、正しく分別することにより自然界を、自分や家族を守ることにすると教えていただきました。

最後は、具体的に「このゴミどっち?」。さまざまなものを会場のみなさんと分別しました。「ええ～、これって普通ゴミなんや～!!」と今までの認識がくつつがえりました。

惜しむらくは大阪府レッドステージ発出のため前回同様会場には入場制限がかかっていたのが残念でした。

今回はYouTubeライブ配信のため、下池田青年団の方々に協力いただきました。どうもありがとうございました。



パネル(紙芝居)

(『館だより』No.15より)



岩崎 郁代

岸和田保護司会より岸和田女性会議役員会に世話人として参加させていただいて、約4年になります。毎回の役員会では前向きな意見が活発に交換され、圧倒されながらも女性という立場を改めて考えさせられる貴重な経験をさせていただき感謝しています。

保護司として7年、昨年11月には岸和田地区保護司会設立70周年を迎えました。保護司は犯罪のない住みよい社会の実現を目指し、罪を犯した人を地域社会の中で通常の社会生活を送らせながら、その改善厚生を図る活動です。この7年で数名の少年と出会いました。面接を通して感じることは、家族との会話がな、居場所がない、親子の信頼関係がない、親からの愛情が薄い等が共通点です。私は彼らの親にはなれません。でも親のように、本人にどう声をかければ心を開いてくれるか悩みながら話します。「今日はどうだった?」「何か困っていることある?」というふうに小さな事

から笑顔で声かけするように心がけています。相手の立場に立って考え、理解し、根気よく愛情をもって接していくことが大切だと感じながら自分自身も成長、勉強の毎日です。

また厚生保護女性会の一員として小中学校の挨拶運動、厚生保護施設での食事の準備等にも関わらせていただいています。

そして「まちを美しくする市民運動推進協議会」に女性会議世話人として参画しています。「きれいな岸和田大作戦」と銘うって、年一回、だんじり祭り前に岸和田市内南海本線、JR阪和線各駅周辺の清掃活動が行われています。他の役員の方々にもご協力頂いています。ありがとうございます。また年一回行われる標語、ポスター入選者並びに善行者の表彰の審査員としてもかわり、晴れ晴れとした姿で表彰式に臨む小中学生にいつも感動しています。

私の座右の銘は「桜梅桃李」です。桜が梅にはなれないように、人と比べることなく、自分は自分らしく自分にしかできない使命があるとの思いで女性会議の一員として、日々勉強していきたくと思っています。

# 女性学サークル学習会

講師 小堀 頼子 人権・男女共同参画課長

2月10日(水) 13:30~15:30 女性会議15名

「森前会長の発言をきっかけに、男女共同参画が国内外で大きく注目され、これを一つのチャンスにしたい。人の意識はなかなか変わらないと痛感しているが、それでも今回の件を見ると少しずつは変化し男女共同参画が社会で取り上げられるようになってきたと思う」と切り出されました。

## 1 事業所における男女共同参画に関する意識調査結果について

「第3期きしわだ女性プラン」による2016・2017年度の重点項目の一つは、国が制定した「女性活躍推進法」に基づく施策の推進と性別役割分担意識解消のための啓発。そのため事業所における女性の活躍について取り組むことにし、18年度に女性の置かれている実態を把握する目的で事業所を対象にアンケートを実施、19年度には法律を背景にして、この調査結果を「施策」「次期計画」に活かしていくこととした。

### ① 事業所の概要

岸和田商工会議所の協力により抽出された、本市内にある事業所421社にアンケートを郵送、有効回答数は154社で中小企業が多い。業種によって男女の割合に差があり、製造業では女性従業員数は2割未満、小売り・卸売りや医療・福祉では女性が6割ほど。

全体的に男性の非正規割合は2割、女性は5割。特に小さな事業所は非正規によって支えられており、これらのことは社会背景とリンクしているため、働き方改革や女性活躍推進法にかかわる課題として、今後注視していく必要がある。

管理職比率については、圧倒的に男性が管理部門や意思決定部門を担っていて、事業所・市役所とも女性管理職は1割程度、ただし市役所の係長クラスは男女比がほぼ同じになっているので、今後を注視したい。

### ② 育児介護両立支援

アンケートの結果を見ても、本市においては未だ育児・介護休業制度の利用者は少ない。しかし事業所が今後検討していることとして、勤務時間の短縮・フレックスタイム制の導入、深夜労働の制限等が挙がっており、市としても制度を利用しにくい原因を明確にし、育児・介護の両立支援を実現させたい。

### ③ 女性活躍のための取組

ポジティブアクションについては半数以上の事業所が知らないため、行政から具体案を提示して目標を立てる必要がある。取り組むことで理解を深めていき、また女性の就労や管理職への登用促進では、事業所の2割が「家庭生活への配慮の必要」をあげている。性別役割分担意識の払しょくに向けて具体的な施策を迫っていく。

### ④ 男女ともに働きやすい環境づくり

事業所が実際に実施していることとして、有給休暇の

取得促進、残業時間の制限、管理職の意識改革などがあるが、15.2%の事業所は何もしていない。行政に期待することとしては、3割が保育所、学童保育、介護施設などの充実と回答。

## 2 第4期きしわだ男女共同参画推進プランについて

このプランは、市民一人ひとりの人権を尊重し、多様な考え方を受け入れていくことをベースにしている。人間を性別で括らず、やりたいと思う人がやれるような環境を社会で作っていくことが、男女共同参画の目指すところと考えている。

### (1) 基本理念コンセプト

＜誰もが暮らしやすい社会にするために 男女共同参画を実現するまち きしわだ＞

男女の格差を無くさない最終的に「一人ひとりが」にはならない。男女の先には、「一人ひとり」という視点を欠かさないよう計画の中に位置づけている。

### (2) 第4期計画の特徴

①第3期の計画を継承して発展させるもの。成果の見えないものは改めて取り組み、一定成果のあるものは発展させ次の段階を目指す。男女共同参画への意識啓発は常に必要な取り組みで、この意識は広がりつつあるが、さらに意識を行動に繋げる段階を目指す。

②第3期以降の新たな法整備や課題に対応できるものとする。女性活躍推進法における市町村推進計画を岸和田市内全体に浸透させていく。事業所でも計画を立てるようになってきている。DVの防止も計画に位置付けて進めていき、防災の分野における男女共同参画では、女性視点の災害対策を進める。

計画の推進体制と進行管理に力を注ぐ。まず具体的に何をするかを明確にしたい。議会においても「何が出来るか、何が出来ていないか、実感がない」と言われている。市民が声を挙げることは大切で、市は積極的に取り組むことが必要と考える。

### (3) 第3期の反省から得られたこと

実効性のある計画として行動に移していけるよう実施計画を丁寧にする必要がある。何をすれば行動に繋げていけるか庁内では各課と話し合う。また庁内だけでは事が進まないこともあるので、パブリックコメントや委員会等での発言があると取り組みやすい。地域や事業所の声が必要である。

「目標管理」の目的は、チャレンジして仕事のレベルを高めることにある。目標を持つことで、達成できなくても過程の中で得られるものがある。成果の可視化が必要で、努力目標だけでは変わっていかない。数値目標を定めて説明責任を果たし、伝えることで成果や課題、新しい提案が生まれる。市民と信頼関係を築き、今後何が大切になってくるかをともに考え一緒に方向を見られるようにする。

参加者からは、女性登用する企業に対する様々な褒賞の提案や、外国人の人権、企業誘致、女性の視点を入れた防災計画の早期完成等、他にも活発な意見が多数出ました。

(川本 佐知子)

# 市民環境部 廃棄物対策課との懇談会

2020年11月25日(水) 男女共同参画センター実習室 13:55~15:15  
山本課長、和田参事、大工参事、大北減量推進担当主幹  
女性会議 6名

## 1) 「きしわだプラスチックごみゼロ宣言」後の市の取り組みについて

(市のHPに掲載されている令和元年度岸和田市廃棄物統計書をもとに説明された)

今年度は新型コロナウイルス感染拡大で例年実施しているイベントが中止になり、啓発活動ができていない。

2020年7月からレジ袋の有料化が始まったが、プラスチックごみの量は7月~10月で増えている。その原因としてステイホームが強く推進され、食べ物のテイクアウトが増えていることが影響していると思われる。事業系ごみは減少している。

ペットボトルのキャップとラベルはプラスチックごみで、容器は軽くすぎカン・びん・ペットボトルの回収日に出す等、今年度中にゴミの出し方、分け方の冊子を作成、全戸配布を計画している。

**Q** ゴミを捨てるときの具体的な方法を表示してほしい

**A** リサイクル時に圧縮するため効率的な状態で捨てる(プラ表記の容器はフタを外して、できればフィルムも外し捨てる)

**Q** 市の広報を読まない人も多いのでスマホ等でごみの捨て方がわかるアプリはできないか?

**A** 今は考えていない。

**Q** ごみの捨て方に迷ったときや悩んだときにすぐ確認できるもの(冷蔵庫に貼っておけるようなもの)を作成し、市民へわかりやすくごみの捨て方の広報を積極的にしてほしい。

**A** 今回作成中の冊子の裏表紙を切り取り貼れるように工夫している。

## 2) 災害発生時のゴミ集積場所の確保状況と周知について

平成30年9月の台風21号で災害廃棄物が4000 t 出た。岸和田市の災害ごみ処理計画案を現在作成中、12月末の廃棄物減量等推進審議会に提出、1~2月にパブリックコメントを求め3月末までに作成予定である。

☆この2年間、災害が発生しないで行ったが、できるだけ早く実現してほしい。

## 3) 集団回収の古紙類の行政回収の導入について

岸和田市の考えの基本は集団回収の継続。現在、集団回収では業者に委託料を払っていないが、この状態をずっと続けていけるかわからない。

岸和田市の学校関係において「委託料をもらわなければ各学校に古紙回収に行くことはできません。持ち込んでもらったら引き取ります」といわれている。

今後岸和田市としても集団回収ができにくくなる地域が出てきた場合、行政回収の必要が出てくると考えている。

**Q** 普通ごみ指定袋が破れやすくなっているとの声があがっているが、変わったのか?

**A** 最初のゴミ袋より伸びるように材質を少し変更した。尖ったものに弱い。破れたらテープを貼って出してほしい。

☆牛乳パックを集めてトイレトーパーと交換するとりくみをしている学校では、子どもたちもリサイクルについて認識する機会になっている。ごみの削減、分別、リサイクルについて次の世代を育てるために担当課として教育活動を積極的に実施していく必要があると思うので今後頑張ってほしい。

懇談会を実施して、ゴミの減量や分別という今の課題とともに、将来のゴミ問題について今すべき課題、教育問題について話し合ったことが印象的でした。これからもペットボトルの回収を100%に近づける取り組みに重点を置いてほしい。

集団回収の古紙類の行政回収は地域によってやり方が様々なので、今後も注視していきたい。

(梅崎 美智子)

—つ・ぶ・や・き—

## 少しは変わるか? 日本のジェンダー問題

貝塚 眞知子

森喜朗オリンピックパラリンピック組織委員会前会長が、女性差別発言から辞任することとなった。当初、謝罪会見のみでことを済ませようとしていたご本人並びに関係者も国内外からの非難を浴び、ことの大きさにやっと気づいたようだ。日本のジェンダーギャップ指数がとんでもなく低いことは前々から指摘されてはいたが、この国のトップの人々はスルーしつづけてきた。今回はSNSの署名が約16万筆も集まったということも大きかったと思う。ジェンダーに関する日本の常識は世界の非常識であることを少しは認識されたであろうか。そしていろいろメディアも発言内容のみではなくジェンダー問題を取り上げていたことも日本社会が少しは変わってきたのかと…。

これは、組織委員会をはじめ物事の決定機関に女性が少ないあるいは誰もいない。そのことが大きな理由の一つであることは間違いない。何故か? 女性の妊娠、出産、育児を政治、経済などの活動にとって相変わらず

イナスとしかとらえていないからである。

今まで労働基準法の対象外であることから明記されていなかった地方議員の産休期間がようやく明記されるようになった。国会議員においても橋本聖子議員が20年前に妊娠するまで、議員の欠席理由に「出産」はなく「事故」と同じ扱いだったそうである。産休に関しては明記なしであった。こういう事態がようやく改善されてきたのである。「わきまえない女」達の努力のたまものだろう。

今回の森発言とその後の顛末から少し人々の認識が変わり遅々として進まなかった男女平等が一步前進することに期待したい。この国において立法府をふくむあらゆる決定機関の構成員の半数を女性にすること。それがこの国の男女平等を世界水準に引き上げる唯一の道だと思う。そのためにはクォータ制などのアフーマティブアクション(積極的格差是正措置)などによって女性の数を増やすことであるが、これに関しては逆差別だとの意見もある。しかし、男性達よ、あなた方は何十年、何百年に渡って女性を差別してきたのだからそこは許していただきたい。この政策によって長年の懸念である少子化も改善されていくことと思う。



## 福祉部会

### 学習会 12月11日(金) 「高齢男性の孤立化を防ぐために」

2018年度の公開講座に於いて、講師の大谷悟さんが、重度な介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるために、2025年を目途に構築を求められている「地域包括ケアシステム」を必要とする背景のひとつに高齢男性の社会的孤立を挙げ、「孤立死」に関わる埋葬や遺品整理などの社会的コストも高まることを指摘されました。

今回はその払拭のために、岸和田女性会議としての実践的な取り組みを見出したいと、いろいろな場面を見、経験を積んでこられた社会福祉協議会の沖藤政紀さんをお迎えし「高齢者の生き甲斐づくり」について考える場を持ちました。

沖藤さんは、子ども会やPTA活動は女性が大多数を占め、男性の地域デビューは祭礼から町会役員や老人会に関わるか、定年退職後に公民館や福祉センターで開催される講座等に参加し、講座終了後にグループに加入し活動するのが殆どだと話されました。自ら企画した幾つかの高齢男性向け講座参加者の共通点について、私語が少なく基本的に静か、講座終了後にお茶をするなど後の繋がりをつくらない、出来ないことを見られるのを嫌がる、家事力がないなどを挙げられました。また、講座参加申し込みの殆どが妻からであることも指摘され、高齢男性の社会参加を促すためには思い付きでは駄目で、横の繋がりを積極的につくらな

## お針子サロン

『岸和田市受益者負担基本方針』が平成28年5月に策定、令和元年8月一部改定により公共施設の使用料・手数料について基本的な考え方が出されました。受益と負担の公平化の観点から次の3つの基本的な考え方にに基づき受益者負担の適正化が図られました。(1) 受益者負担の原則(公平化) (2) 算定方法の明確化(透明性) (3) 減額・免除基準の統一化

私たち岸和田女性会議は、「利用目的や活動内容に公益性が認められ、男女共同参画センターの設置目的に資するもので、利用者以外の市民の福祉の向上に寄与し、市が支援する必要があると認める」団体として、使用料は免除されています。これまでは「岸和田女性会議」という1つの団体としての登録でしたが、1年前、センターからの指示で、役員会、6部会とそれぞれが登録して使用するようになりました。部屋を借りる減免の条件の一つとして『市内在住在勤者が2/3以上』であることが、お針子サロン部会において満たしていないと男女共同参画センターより指摘され、1年

いなどの男性の特性をよく把握して行う必要があるとのことでした。

まずは健康的な高齢者を増やすことが必要で、それには人との交流が大事だとアピールしなければならぬが、それを女性会議レベルで取り組むのは難しく地域福祉計画に盛り込んでいくべきだろうと確認しました。女性会議として出来ることは、市議会議員と話し合い直接訴えるか、女性会議会員の議員から議会に於いて提案してもらうことではないかと、なすべき方向が見えた気がしました。

この話し合いを通して、子どもたちの育ちの過程で男女平等意識が家庭や学校生活の中で自然と育まれていくことが、将来孤立化する高齢男性をつくらぬことに繋がるのではないかと、高齢男性にだけスポットを当てては孤立化を払拭し社会参加を促すことは難しく、若い世代からの意識変革にも平行して取り組んでいく必要があると図らずも気づかされることになりました。

福祉部会では「有料老人ホーム」と「サービス付き高齢者向け住宅」にアンケートを実施し、その回答を冊子にしました。前述の「地域包括ケアシステム」で中心に位置づけられている「住まい」には自宅とともに「有料老人ホーム」や「サービス付き高齢者向け住宅」も含まれます。自分らしい老後の暮らしをこれらの施設に託す時、どのような運営状況かを知ったうえで選択することが大切であると考え、アンケートを実施しました。ご利用ください。(西田 幸子)

間の猶予後は今まで通りには使用できないとのことでした。もちろん女性会議全体では2/3以上は満たしています。お針子サロンにおいてもここ1~2年では無理ですが、数年かけて『市内在住在勤者』を増やしていくことなどセンターと話し合いましたが叶いませんでした。

2021年度からは、現在のお針子サロン部会の大多数のメンバーは、大宮地区公民館で新たなグループで一般使用(有料)の形で活動します(大宮地区公民館のクラブ登録の市内在住在勤者1/2以上の条件も満たしていないため)。

新しいグループを作っても、女性会議を退会しないで「男女平等参画社会の実現をめざして」あらゆる人が住みやすい岸和田になるように共に歩んでいただきたいと思っています。

岸和田女性会議の「お針子サロン」部会がなくなるわけではありません。興味のある方はぜひ仲間になってください。(中川 麗子)

## 小・中学校の適正化について

昨年4月、「少子化により多くの小・中学校で小規模化が進行する一方、宅地開発等で一部の学校に児童生徒が多く集まる傾向があり、規模の違いによる教育環境への影響が懸念される」として、『岸和田市立小・中学校の適正規模及び適正配置基本方針』が策定されました。

そして、11月には事前の説明もなく『小中一貫教育基本方針』が決定事項とされ、12月、『岸和田市立小・中学校適正規模及び適正配置実施計画（第1期）（案）』が出されました。

この実施計画で対象とされているのは、牛滝の谷地域（城東小、山直南小、山滝小、山滝中）、葛城の谷地域（天神山小、修斉小、東葛城小、葛城中）で、両地域全体で小学校1校、小中一貫校2校に統合。都市中核地域（中央小、浜小）は2期計画で実施する、というものです。

小中一貫校については、一昨年10月の『岸和田市立

小中学校等規模及び配置適正化審議会』答申で、適正化に向けての手法の一つとして触れていましたが、「小中学校の教育課程や教育活動等これまでの学校運営のあり方を大きく変える形態になる」と、小中一貫教育の教育的意義と課題については、時間をかけて丁寧に研究する必要があるとされていたものです。

また、適正化の根拠とされる学校教育法施行規則の学校規模の標準（小・中学校とも12学級以上18学級以下）ですが、「地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない」と例外を認めているものです。この間、政府も1学級の上限人数を40人（現在一年生は35人）から35人とする小学校の「少人数学級」拡充を決めており、よりよい教育環境のために何が求められているのか。学校規模に関しても、このような流れもふまえた検討が必要ではないでしょうか。

文科省の適正化の手引にも、「地域とともにある学校づくり」が求められていることを踏まえるならば、児童生徒の保護者や就学前の子どもの保護者の声を重視しつつ、地域住民や地域の学校支援組織と教育上の課題やまちづくりも含めた将来ビジョンを共有することが大切とあります。そのためにも性急に進めるのではなく、対話の積み重ねが求められます。

(K. J.)

## 文化祭サポーター会議 辻 満里子

第72回岸和田市文化祭が9月20日から11月22日まで市立文化会館(マドカホール)・市立自泉会館・市立福祉総合センター・市立幼稚園等で行われました。

開催にともない、その前後に文化祭サポーター会議をマドカホールにて実施し、1回目の会議(9/3)では、開会挨拶の後、8名のサポーター・4名の事務局の自己紹介に続き、各案件について審議しました。文化祭とは、市民が主体となって市内で文化活動する団体が、日頃の成果を発表する場であり、展示部門と舞台部門があります。

これに対し文化祭サポーターは、幅広い視点から行事に対する意見や参加団体に助言や支援をする立場ですが、今年度はコロナ禍のもと、当初は34団体の参加申し込みがありましたが、結果的に14団体の参加に留まりました。

各サポーターはあらかじめ視察可能な日程表を提出、これを元に事務局がそれぞれの視察すべき行事を割り振ります。行事視察に際し、特に写真撮影に関しては厳重な注意が必要で、然るべき筋に許可を得なければなりません。今回はその他にもコロナウィルス感染拡大阻止のため、様々な手立てを考え実行することになりました。

事務局から「文化の日祝典記念行事については、本年度は一同に会しての表彰は中止にするが、功労者の名簿は作成し表彰は各課で対応する」「文化祭記念コ

ンサートは、11月1日に『男性4人による おとコンサート』と題したものをマドカホールで開催。安全確保のため定員100名とする」との報告がありました。

2回目の文化祭サポーター会議(12/3)では、今回全ての行事が予定通りに開催されたが、観客述べ数は前年比の約7割であったこと。また行事視察報告として、

＜舞台部門＞ 指定席にしたことで来場者の出足もゆっくりで密を回避でき、受付時の机は間隔をあけて配置した結果密を回避できた。当日券の問い合わせが数件あったが混乱はなく、ただマスク未着用の人もいたり（舞台用化粧の影響？）、エレベーター内での密状況など、一部事前連絡の周知が十分でなかった事項もある。

＜展示部門＞ 受付方法が関係者に伝わっていなかったり、会期初めに来場者が集中して、コロナ対策への意識が行き届かないようなこともあった。しかし互いに徐々に慣れてきて、懸念すべき事態は解消されていった。日々の活動を楽しまれているのが、伝わってくる展示だったが、風が強い日もあり換気のため窓を開けているので、作品が何度か落ちた。展示場の構造上時間によっては密になっていた。等が挙がっていました。

コロナ禍での開催でしたが、どの団体も細心の注意をはらって行いました。出されたたくさんの意見は各団体に報告されます。課題は多くありますが、来年度は少しでも多くの団体が参加出来るようになればいいと思います。

## 『脱コルセット』って知っていますか？

脱コルセットを私はまったく知らなかったの、テレビの特集を見て驚きました。今やLGBTやボディポジティブ等の言葉がますます認識されています。そして時代錯誤の政治家の失言がすぐに世界の話題になり、朝のワイドショーでさえ「日本のジェンダー指数は121位です。この嘆かわしい現実を今回は見事に露呈してしまった」と司会者が発言する昨今に何…？という感覚でした。

美しいこと、つまり美の規範を重要視する韓国で産まれた言葉で、コルセットを社会や周囲から押し付けられる“女らしさ”“男らしさ”と捉え、そこからの“脱”を目指して自分らしくを尊重する生き方らしいです。日本でも実践する人が増えていて、東京大学大学院の清水晶子教授は「社会に蔓延する、女性はこうあるべきという固定観念への違和感がSNSなどで広まっています。女性は男性の付属品として価値を与えるような存在になりなさいという要請があり、それに反する態度は突き詰めて言うと家父長制に抵抗するということでもあります」と言っておられました。

特集の中である女性は長い髪を切って彼に会いに行くと、「俺に恥をかかせたいのか」と激怒されたそうです。自分の意志で短い髪にただけなのに。

求める形でない、周りに順応しないというだけで、女性は不利をこうむることが多いのです。

こうあるべきという固定観念はメディアの責任も大きいのではないのでしょうか？またコンプレックス広告にもその一因を担っているところがありそうです。テレビ、スマホ、新聞雑誌あらゆる媒体を見ても、「その首、手で、年齢がわかる」「おばあちゃん顔になっていませんか」「あと5kg痩せると、人生が変わります」・・・こんなフレーズがドンドン降ってきます。すでに高齢者の私にも女性であるというだけで。実際、私はエステにも行ってダイエットもしたい、高い化粧品も買ったことがあります。自分のためにだから良いのでは？それともきれいにならなきゃの固定観念に動かされている？何とも言えない感覚が沸々とわいてきました。

フェミニズムに対しての“自分軸”が全く分からなくなってしまいました。脱コルセットは自分らしさを取り戻すことではなく、社会運動なんだという考えの人々もありました。女性が脇毛を見せて「むだかどうかは自分で決める」というシェービングメーカー巨大広告も東京にあるそうです。脱コルセットなどという言葉が無くなるには、まだまだ時代が動くことが必要なのでしょうが…。

(竹末 美恵子)

## あゆみ (12/21~3/31)

・役員会	2回	<行事への参加>	
・代表・事務局会議	2回	・男女共同参画センターグループ・	
・臨)代表・事務局会議	2回	団体登録説明会	1/23
・女性学サークル	3回		
・福祉部会	4回	<委員会への出席>	
・ワーク部会	2回	・チピッコホーム意見交換会	12/23
・お針子サロン	27回	・廃棄物減量等推進審議会	12/25
・サロン・ドゥ・GOMI	1回	・平和を考える戦争展実行委員会	2/8
・悠遊・UBAステーション	1回	・住居表示審議会	2/15
・部長会議	2/7	・地域公共交通協議会	2/15
・広報編集委員会企画会議	1/9	・社協ボランティアセンター運営委員会	2/25
・広報編集委員会	8回	・社会福祉協議会理事会	3/16
・講座「世界から見た日本の人権」	1/16	・生涯学習推進本部委員会	3/18
・役員選考委員会	4回	・男女共同参画推進審議会	3/22
・広報No.101発行	3/25	・子ども・子育て会議	3/23
		・生涯学習審議会	3/25

### 編集後記

緊急事態宣言が延長された中での広報紙作り、No.101はお手元に届きましたか。今回の森前会長の発言を皆さまはどう感じ、考えましたか。もし私なら、女性差別を見たり聞いたりしたその場で、声をあげられたらどうか？いつか自分の言葉でせいっぱい意見を言えるように…。

感染がこのまま収束し、明るい春を迎えたいものです。(MY)

(貝塚・川本・実川・竹末・中川・宮路・山中)



## お知らせ

# 第33回 総会ご案内

とき

4月10日(土)  
13:30~15:30

ところ

岸和田市立  
男女共同参画センター

会費受付中

個人会員…1000円

団体会員…2000円

\*問合せ 080-4984-5226